

一 生き方探究教育 一

中学校各学年における 各教科等と「4領域」との学習内容関連表（例）

教科等の学習の中で、生き方探究教育で育てたい〈私案〉【4領域の力】と関連がある単元を抽出し、学年・領域ごとに表にまとめました。

なお、この関連表（例）は、「京都市中学校教育課程 指導計画（平成 18 年度版）」及び「京都市中学校教育課程 指導計画（移行措置 平成 22 年度版）」を基に作成しています。

<関連表の見方>

- 教科等名・単元名・（○印）単元目標の下に、生き方探究教育の視点から見た「めざす子ども像」を記載しています。
- 総合的な学習の時間においては、第 1・2 学年に「生き方探究・チャレンジ体験」（ただし、5 日間の職場体験は、第 2 学年に実施）を、第 3 学年に「京都ファイナンスパーク学習」を位置づけ、教科との関連を意識しています。
※京都市においては、第 1 学年または第 2 学年で「京都ファイナンスパーク学習」を実施しています。この場合は、総合的な学習の時間を中心に取り組むなどの工夫をすることが考えられます。

<活用の仕方>

- 生き方探究教育の年間指導計画・学習計画を立てる際に、活用することができます。
- 領域ごとにまとまっているので、子どもの実態を把握した上で、重点的に育てたい領域を選び、活用することができます。

<活用の留意点>

- 総合的な学習の時間や学校行事などにおける学校独自の特色ある取組を組み込み、系統的・継続的にキャリア発達を支援していくことが大切です。